

空気清浄機のPM2.5に対する除去性能試験を開始

～専用測定器を導入し、製品の除去能力を評価～



PM2.5 除去性能試験に使用する測定器



専用の試験室での空気清浄機の性能試験の様様

0.1 マイクロメートルの超微粒子を測定可能

- ◆ 株式会社エフシージー総合研究所(東京都江東区/社長: 小櫃眞佐己)は、家庭用空気清浄機のPM2.5に対する除去性能試験を11月から開始します。この試験サービスは、日本電機工業会の自主基準に基づき行うもので、家庭用空気清浄機を製造するメーカーを対象に提供します。
- ◆ 日本電機工業会規格「家庭用空気清浄機」に準拠し行う性能試験には、「集じん性能試験」、「脱臭性能試験」があり、日本電機工業会の自主基準である「PM2.5に対する除去性能試験」もあります。
- ◆ PM2.5とは大気中に漂う、微小粒子状物質で粒子の大きさが2.5 マイクロメートル(μm)以下のものをさします ($1\mu\text{m}=0.001\text{mm}$)。たばこの粒子には、 $0.1\sim 2.5\mu\text{m}$ の大きさのものが含まれていますので、試験ではたばこを粉じん源として使用します。
- ◆ 性能試験では、 $0.1\sim 2.5\mu\text{m}$ の範囲の微粒子の質量濃度を測定できるデジタル粉じん計を測定器として使用します。PM2.5が充満した約8畳の空間を90分以内で99%除去できるかどうか、テストする空気清浄機の判定の目安となります。
- ◆ エフシージー総合研究所・生活科学研究室では、本性能試験の他にも、美容器具、調理器具などの使い勝手やデザインなどに関するテストや開発を行い、製品特性に合わせて、柔軟な性能試験を実施しております。生活科学研究室ウェブサイト <http://www.fcg-r.co.jp/lab/>

【お問い合わせ】 株式会社エフシージー総合研究所
東京都江東区青海 1-1-20 ダイバーシティ東京オフィスタワー6F
☎ 03-6891-8501 広報担当 : 大島

エフシージー総合研究所について

(Fujisankei Communications Group Research Institute, Inc.)

弊社は、フジサンケイグループの調査・研究機関が統合され、1985年9月に誕生しました。企画開発部、暮らしの科学部、情報調査部、管理部の4セクションで構成されています。このうち、ユニークな理系の専門家集団である企画開発・暮らしの科学部門は「フジテレビ商品研究所」(通称)として、消費者・生活者の視点で日本人の生活・暮らしを科学・研究し、その成果を消費者、企業、メディアに発信し続けています。もう一つの柱である情報調査部門は、Fujisankei Communications Groupのメディアグループ機能を最大限に生かし、一般企業や各種団体の広報活動を支援する独自の企画で高い評価を得ています。

□企画開発部

書籍・パンフレット類の企画制作、各種商品の取扱説明書、タイアップ広告の制作などのほか、新聞や雑誌へ生活記事も発信。HPの制作、デジタルデータ・コンテンツの管理運用などデジタルメディア関連の業務にも携わり、食品表示作成システム「食品大目付そうけんくん」の開発・運営も行っている。

□暮らしの科学部

料理レシピの開発、化粧品の効果の測定から繊維、洗剤、日用品、家電製品の性能検査や品質管理まで「暮らしに関わるいろいろ」が専門。実験や調査で得た商品情報や暮らしの情報をテレビ番組で放映、新聞・雑誌に掲載するなど幅広く発信しており、一般企業からの多様な受託業務は消費者と企業を結ぶ架け橋の役割も果たしている。

□情報調査部

会員制の広報勉強会「フジサンケイ広報フォーラム」を毎月1回、講師を招いて開催、会員相互の情報交換の機会も提供している。このほか、5週間にわたる新人広報マン夏期講座や広報エグゼクティブセミナーなど各種セミナー、現役の記者らによる模擬記者会見が中心のメディアトレーニング、出張広報勉強会などを開催している。

会社概要

社名	株式会社エフシージー総合研究所
所在地	東京都江東区青海 1-1-20 ダイバーシティ東京オフィスタワー6F
設立	1985(昭和60)年9月
代表取締役社長	小櫃真佐己
株主	(株)フジ・メディア・ホールディングス、(株)産業経済新聞社
URL	http://www.fcgr.co.jp/